

# きままに ティーンズエッセイ



by 星月夜  
(ティーンズ  
スタッフ)

## 知っていますか？ “ルリユール”

みなさん、“ルリユール”という仕事を知っていますか？

“ルリユール”とは劣化した書物の綴じなおしや、仮綴じ本の装丁や製本を、手作業で行う職人、またはその過程のことを言います。

フランスで花開いたこの文化はヨーロッパで数百年も続く伝統的な技術です。電子書籍なども普及している現代でもこの技術が受け継がれているから驚きです！依頼を受けてデザイン装丁・製本を施し、一冊の書物を仕上げるのですが、その作業はとても大変で、仮綴じされている本を分解し、傷んでいるページを修理することから始まり、化粧断ちしてから圧縮ボードの表紙とまた綴じなおし、表紙を革でくるみ装飾しタイトルをつけてやっと完成となります。

なんと日本にもルリユール工房があるので、気になった方はぜひ調べてみてください！



## ☆あわせて読んでほしい本☆

『ルリユール』村山早紀／著 ポプラ社

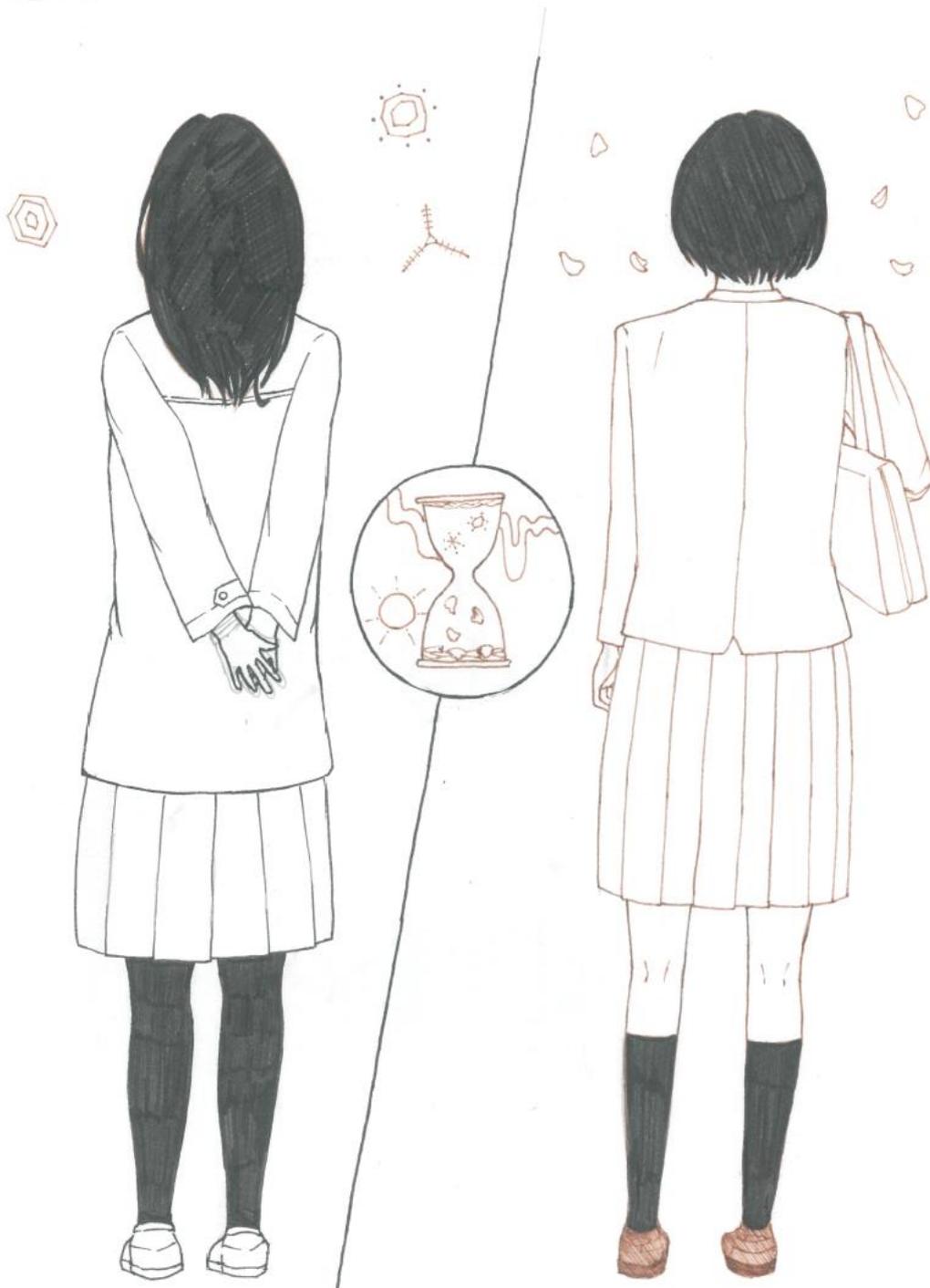
中学生の瑠璃とルリユール職人のクラウディアが魔法のような手わざで傷ついた本と心を修復していく。本を愛する人の美しく不思議な物語。

〈参考〉

- ・活版印刷研究所「京都大学図書館資料保存ワークショップ [図書館に修復室をつくろう！] ⑥ルリユールという仕事」  
〈<https://letterpresslabo.com/2017/05/15/kulpcws-column-reliure/>〉
- ・ヒトコト・モノコト「インタビュー 東京都千代田区ルリユール職人 伊藤篤さん」  
〈[https://hitokoto-monokoto.jp/?post\\_type=interview&p=354](https://hitokoto-monokoto.jp/?post_type=interview&p=354)〉
- ・西南学院大学文学部外国語学科フランス語専攻研究旅行「物質としての書物 ～フランスにおけるルリユール文化～」  
〈[http://www.seinan-gu.ac.jp/gp/french\\_trip/2012/2572.html](http://www.seinan-gu.ac.jp/gp/french_trip/2012/2572.html)〉
- ・Les fragments de M「reliure close up ルリユールが出来上がるまで」  
〈[http://www.frgm-reliure.jp/reliure/reli\\_cu-reliure/](http://www.frgm-reliure.jp/reliure/reli_cu-reliure/)〉

～中高生むけ図書館だより～

オ ウ ル ニ ュ ニ ス  
O W L N E W S



## あたしたちのおすすめ本

こころがぽかぽか

### 『神様のカルテ』 夏川草介／著（小学館）



ドラマ化され、ご存知の方も多いのでは…？  
古風な話し方をする医師、栗原は夏目漱石を愛する変わり者である。患者と細君(妻)を誰よりも想い、多くの出会いと別れを繰り返しながら人生を歩いていく。

度々生まれる数々の名言はメモせずにはいられない。笑いあり、涙ありのこの感動作を是非みなさんに読んでいただきたいと思う！

(ティーンズスタッフ：リトルフラワー)

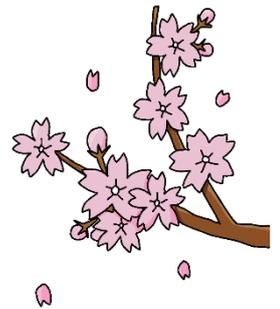
### 『レインツリーの国』 有川浩／著（KADOKAWA）

ハンカチ必須！

この作品は私が今まで読んだ作品の中で一番印象に残っている作品です。

主人公の伸とヒロインのひとみがフェアリーゲームという作品を通して、ひとみのブログ『レインツリーの国』で交流を深めていく物語です。健聴者と難聴者という違いに互いに傷つき合いながらも関係が深まっていく、おもわず涙が流れるストーリーです。

(ティーンズスタッフ：香)



衝撃のミステリー



『青の炎』  
貴志祐介／著 (角川書店)



女手一つで家計を担う母と素直で明るい妹と暮らす17歳の男子高校生「榎森秀一」は幸せな日々を享受していた。そう、母の元夫「曾根」が現れるまでは。傍若無人に振る舞い、母、そして妹までも追い詰める曾根に対して警察も法律も対処してくれないことを知った秀一は、家族を守る為、自らの手で彼を葬り去ることを決意する。完全犯罪に挑む少年の孤独な戦いを描いた倒叙ミステリー。  
(ティーンズスタッフ：餅丸)

『皆勤の徒』

西島伝法／著 (東京創元社)

異世界へ誘います

「従業員が穿膚(せんぷ)器を手に取り、蟻布(ゆふ)を剥り抜いてその穴に血管(けっかんもどき)と呼ばれる筒状の寄生虫を通して…」(本文より)

この文章を見るととても読みづらいと思うかもしれない。しかし、この奇怪にも感じられる造語が徐々に癖になり、本当に異世界に来てしまったかのように思わせてくれるのがこの作品だ。また作品中に挿入される絵も魅力的であり、それも楽しんでほしい。



(ティーンズスタッフ：黒澤)

ティーンズスタッフ新メンバー募集中

諫早市内の中学生・高校生のみなさん！ティーンズスタッフに参加してみませんか？  
ティーンズスタッフでは、「OWL NEWS」の作成や本の展示、オリジナルグッズの作成など、  
“図書館でやってみたいこと”を自由にゆる～く楽しく活動中☆  
ちょっと気になってる人、見学してみたい人はお気軽に図書館まで♪



(連絡先：諫早図書館 児童担当 0957-23-4946)

